

🏆杯に参戦するなら絶対必読!!

2011 🏆杯ミニバイクレース 車両規則の変更点はここだ!!



変更 POINT 1
M
クラス

今年からNSF100が参戦できる!

ミッション付きのノーマル車を基準に開催されるMクラスに、今年から正式に4ストレーサーのNSF100が参戦可能となる。現状の規則では、NSF100が参戦する場合、混走もしくは単独開催のみが認められていたが、東日本シリーズでの最終戦でテストした結果、戦力バランスの整合性が確認されたので、正式にMクラスへの参戦が認められた。キッズレーサーたちのステップアップクラスとしてもオススメなのでぜひ!

- ★[02-07]の規則文を下記に変更する
- NSR50とNSRミニの部品の互換性を認める。また、NSRとNSF100の間においてエンジン部品並びに電装系部品以外で無加工、無改造で使用可能な部品についての互換性を認める。
- ★[02-10]の規則文を下記に変更する。
- 13インチ以上のマシンにはSP50規定に準ずる。但し[07-2st06]は適用外とする。
- ★[02-20]の文末に下記を追加する。
- 強度、剛性に影響しないエンジン冷却の為に整流板等の追加は可。また、エンジン熱からリヤショックを保護するための遮熱板の装着を認める。
- ★[02-23]の文末「フロント～変更可。」を下記に変更する。
- ホイールカラーの変更は可。但しディスタンスカラーの変更は不可。
- ★[02-35]を下記に変更する
- NSF100の参戦を認める。規則はMクラスに準ずる。但し既存車両との戦力バランス考慮し、変更部品の使用制限など、重要な部分を含み猶予なく変更する事がある。
- ★⑧ウエイト規定の128kg欄にM(4st)クラスを追加する。

変更 POINT 2
FN
クラス

駆動系関連にも変更あり!

FNクラスでは、既存のクラス現状に合わせた規則文変更と、駆動系及びハーネス類の規則変更があり。判断が難しいポイントもあるので、不明点がある場合は必ず主催者に確認しよう。

- ★[03-11]の文末に下記を追加する。
- テールランプ取り外した場合には同部位へのカバーの装着を認める。ただしリアタイヤの後端よりはみ出さない事。カウリングは純正同等形状の物への変更を認める。
- ★[03-16]の「スターターモーターのみ～は可。」を下記に変更する。
- スターターモーターの取り外しと駆動に関わっていない部品の取り外し、スターターモーター取り外し後の蓋の取付は可。
- ★[03-22]の「などは可。」の後に下記を追加する。
- またスター部分のハーネスまでの変更を認める。
- ★[03-23]の文末「また、～は可。」までを下記に変更する。
- またガスケットの取り外しを認める。

🏆杯車両規則はWEBもしくは郵送でゲット!

今回の変更ポイントなどを盛り込んだ2011年度版の車両規則は2月15日に完成予定。ダウンロードする場合は、モトチャンプの公式WEBもしくはサーキット秋ヶ瀬WEBから、郵送の場合は下記の手順で手に入れるべし。今回は変更点盛り沢山なのでお見逃しのないように!

- ダウンロードの場合**
- インターネット環境がある方は、下記WEBサイトからPDFデータをダウンロードしプリントすればOK!!
- ★モトチャンプ公式WEB <http://www.moto-champ.com>
- ★サーキット秋ヶ瀬WEB <http://www.akigase.co.jp>
- 郵送の場合**
- ①9cm×20cm程度以上の返信用封筒に80円切手を貼り、宛名にあなたの郵便番号、住所、氏名を記入。②上記①の封筒を別の封筒に入れ、下記宛名でモトチャンプ編集部へ送付。**[送り先] 〒160-8547 東京都新宿区本塩町19 三栄書房モトチャンプ編集部**
- ③「🏆杯規則書係」
- ※発送まで1週間程度かかる場合があります。※切手や宛名に不備がある場合、発送できませんので注意してください。

サーキット秋ヶ瀬で開催される東日本シリーズと、名阪スポーツランド及び猪名川サーキットで開催される西日本シリーズ、さらに全国大会が開催される2011年度モトチャンプ杯。ここではモトチャンプ杯に参加するならば必ず把握しなくてはならない車両規則の変更点をご紹介します。

変更 POINT 3
SP12 & SP50
クラス
4ストマシン専用

社外製のフライホイールが使用可能に!

昨年より4ストマシンが参戦可能となったSPクラス。既存の規則では、4ストマシンのフライホイールの軽量加工のみが認められていたが、加工するよりも社外品を使用の方が安全かつ安価という判断から、下記の通り規則が変更されることとなった。

- ★[06-4st13]の「純正フライ～加工は可。」を下記に変更する。
- フライホイールの変更改造は可。

変更 POINT 4
SP50
クラス

現状に合わせた規則変更あり!

★[07-1]の文頭「カウリングは～使用可。」を下記に変更する

- カウリングは純正同等形状の物への変更を認める。
- ★[07-03]を追加する。
- タイヤのチューブレス化に伴うバルブの追加を認める。

変更 POINT 5
FP
クラス

電装系の規則を明確にするための変更!

★[04-06]を下記に変更する。

- ビークアップを除く、スターターコイルの改造、変更は可。取り外しは不可。

変更 POINT 6
総合仕様

現状を規則に反映するための変更!

★[01-08]の文頭に下記を追加する。

- ボルト・ナットの変更は可。ただしアクリルボルト、スイングアームピボットボルト及びエンジン内部については不可。アルミやチタン製のボルト・ナットをエンジン関係とプレーキ関係に使用する事は、(ブレーキフルード系統とクラッチケースカバー、オイルドレンボルトは除く)安全を考慮し不可。
- ★総合仕様変更に伴い規則番号[02-32]及び[03-13]を削除し、合わせて各規則番号を修正する。

変更 POINT 7
OPEN
クラス

現在規則変更を協議中!!

様々なカテゴリーのフルチャール車が混走するOPENクラスだが、ここ数年のレース内容をもとに、戦力バランスの整合性をとるための規則変更を協議中。規則が決まり次第誌面でも紹介するのでお見逃しなく。なお、決定するまで変更点のお問い合わせ、ご意見などは一切お受けできません。